



令和5年10月12日

記者説明会（10月17日11時・霞キャンパス）のご案内

小児がん患者のためのVRゲーム作り

漫画・アニメ「はたらく細胞」が協力

情報提供

広島大学病院では入院中の小児がん患者へ向けた、VR(Virtual Reality 仮想現実)ゲームの作成プロジェクトをスタートさせました。治療へのモチベーションを上げ、子どもたちの頑張る力を引き出すためです。2000万円を目標にファミリーハウス運営基金で広く寄付も呼び掛けていきます。この件について記者説明会を開きますので、ぜひご参加ください。ZOOMでも参加いただけます。

記

日時：令和5年10月17日（火）11時～12時

場所：広島大学病院臨床管理棟3階大会議室（広島市南区霞1-2-3）

出席者：広島大学自然科学研究支援開発センター 檜山 英三特任教授
広島大学病院小児外科 佐伯 勇 講師

【背景】

広島大学病院は中四国唯一の小児がん拠点病院として、多くの子どもたちの治療を行っています。毎年2000人以上の小児ががんを発症し治療を受けています。小児がんの治療は成人のがん治療よりも厳しく辛い治療です。完全に治癒させなければ、その後の長期生存が望めないため、副作用を薬で抑えながら最大強度の治療が行われます。子どもたちは治療の意義も十分理解できない中、苦しい治療に耐えることになります。1年近くの長期にわたる入院を余儀なくされることもあり、治療を受ける子どもたちの心のケアの重要性が指摘されています。

近年、VR体験が医療での子どものメンタルケアに非常に効果的であるとの報告が多く、小児がんの子ども達がプレイできるVRゲームを作成することで、効果的ながん治療につなげていきたいと考えています。募金と並行して制作会社の選定も進め、早ければ2024年中の完成を目指していきます。

キャラクターとして、体内で赤血球や白血球などの機能などを擬人化した漫画・アニメ「はたらく細胞」（講談社、東京）の協力を得る予定です。ゲームでは体内でどんなことが起こり、治療のメカニズムはどうなっているのかなどを解説していきます。

【お問い合わせ先】

広島大学病院広報

Tel : 082-257-5418

E-mail : byo-toku-chousa@office.hiroshima-u.ac.jp

発行枚数：A4版 2枚（本票含む）



(別紙)

【FAX返信用紙】

FAX：082-424-6040

広島大学 広報室 行

記者説明会（10月17日（火）11時00分開始・霞キャンパス）のご案内

ZOOM 参加可能

小児がん患者のためのVRゲーム作り

漫画・アニメ「はたらく細胞」が協力

日 時：令和5年10月17日（火）11時00分～12時00分

場 所：広島大学霞キャンパス 臨床管理棟3階大会議室

- ☐ ご出席（会場での参加）
☐ ご出席（ZOOMでの参加）

貴社名：_____

部署名：_____

ご芳名：_____（計 名）_____

電話番号：_____

メールアドレス：_____

※ZOOMで参加希望の方は、事前に招待メールをお送りしますので、必ずE-mailの記載をお願いいたします。

※誠に恐れ入りますが、取材いただける場合には、上記にご記入頂き、10月16日（月）正午までにご連絡ください。